

企画提案競技（「ひなたDXハイスクール」生徒向けプログラムに係る業務委託）に関する質問に対する回答一覧

様式	項目	質問	回答
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	DXハイスクール指定校16校は宮崎県全土に渡っておりますが、セミナー開催場所はどのようにするのが適切でしょうか？また、開催する会議室等の施設使用料に関しては、当業務委託予算内の認識で宜しいでしょうか？	会場の指定はありませんが、公共機関でのアクセス状況等を考慮の上で検討いただければ幸いです。また、セミナー実施に係る使用料については、委託費の範囲内で計上してください。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	各学校からセミナー開催場所への交通費に関しては考慮したほうが宜しいでしょうか？	参加生徒の交通費については、委託費に含める必要はありません。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	セミナーは対面とオンラインの組み合わせは可能ですか？その場合、比率の希望はありますか？	対面とオンラインを組み合わせたプログラムの実施は可能です。その場合の比率については、独自提案の範囲で検討いただければ幸いです。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	対象校との日程調整・事務連絡は県が行うのか、受託者が直接行うのかを教えてください。	プログラム全体に係る内容については、県で対象校と連絡・調整を行う想定です。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	想定する対象生徒数もしくは最低何名以上かを教えてください。	参加生徒数は15～20名前後を上限として募集することを想定しておりますが、応募状況によっては、県と受託先で相談の上、上限を変更することも考えられます。また、最低人数は設けていません。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	想定する日数、授業数もしくは最低何時間以上かを教えてください。	最低日数・時間は設けていません。本業務の目的を達成するために必要な日数・時間等について、独自提案の範囲で検討いただければ幸いです。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	対面によるセミナー会場は県が用意するのでしょうか。	セミナー会場の手配については、委託業務の範囲でお願いします。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	「各単元に関する専門的な知識や技術を有する人材の配置」について、資格等が必要でしょうか。	資格等の有無の条件は設けていません（専門的な知識や技術を有する適切な人材を選定してください）。
仕様書	7.(1) 生徒向けセミナーの実施	対象になる生徒は初心者でしょうか、学校による学力選抜による参加者が対象でしょうか。	参加生徒の学習の習熟度については、応募状況によるため、現段階で想定することができません。なお、選考にあたっては、学力選抜は想定していません。
仕様書	7.(2) ひなたDXコンテストの開催	ひなたDXコンテストについて、成果発表ブースや研究協議なども行い、コンテスト出場者以外にも宮崎県内の高等学校等に所属の生徒にお声かけをしたいのですが、問題ないでしょうか？	独自提案の範囲となりますので、特に問題ありません。
仕様書	7.(2) ひなたDXコンテストの開催	想定する対象生徒数もしくは最低何名以上かを教えてください。	コンテスト当日の発表数は10組前後を想定しておりますが、応募状況によっては、県と受託先で相談の上、上限を変更することも考えられます。また、最低人数は設けていません。
仕様書	7.(2) ひなたDXコンテストの開催	想定する実施時期は何月でしょうか。	全国情報教育コンテストの募集開始（令和8年1月）よりも前の時期を想定しています。なお、具体的な期日については、県と受託先で相談した上で決定する予定です。
仕様書	7.(2) ひなたDXコンテストの開催	コンテストの会場は県が用意するのでしょうか。	コンテスト会場の手配については、委託業務の範囲でお願いします。
仕様書	7.(2) ひなたDXコンテストの開催	コンテストに出場するチームに対する審査や順位付けを行うご予定はありますでしょうか。	評価（審査や順位付け）の有無については、県と受託先で相談した上で決定する予定です。
仕様書	7.(2) ひなたDXコンテストの開催	コンテスト当日、観客の入場は想定されていますでしょうか。もし観客を招き入れるご予定がある場合は、どのような属性（一般の方、企業関係者、学生など）の方々を対象とされているか、お聞かせください。	コンテスト参加校以外の学校の教員、保護者、県内企業等の有識者等の一般観客が入場することも想定されますので、独自提案の範囲で検討いただければ幸いです。
仕様書	7.(3) 生徒向け個別サポートの実施	対面でしょうか、オンラインでしょうか。学校訪問有無や回数、期間と合わせて教えてください。	対面とオンラインを組み合わせたサポートの実施は可能です。また、学校訪問や回数等については、独自提案の範囲で検討いただければ幸いです。
仕様書	7.(3) 生徒向け個別サポートの実施	想定する対象生徒数もしくは最低何名以上の対応が必要かを教えてください。	コンテスト当日の発表数は10組前後を想定しておりますが、応募状況によっては、県と受託先で相談の上、上限を変更することも考えられます。また、最低人数は設けていません。
仕様書	8 作業全般における要件	宮崎県内で標準的に使用しているツール（GoogleClassroomなど）は何でしょうか？	本県では全ての県立学校の生徒向けにGoogleアカウントを配布していますので、GoogleWorkspaceの活用した教育活動は可能です。
仕様書	8 作業全般における要件	本業務を主たる業務としつつ、他の業務も一部兼務するような体制は許容されるものでしょうか。迅速な対応が可能な体制は構築いたしますが、いわゆる完全な専従（本業務以外の業務を一切行わない）でなければならぬかどうか、ご確認させていただけますと幸いです。	本業務の目的を達成することができる体制を整えていただくことが条件で、専従であることを求めるものではありません。
募集要領	10 企画提案書の提出	会社概要（契約書及び仕様書の写しの添付をもって証明書類とする）とありますが、契約書及び仕様書の写しはどのようなものが求められていますか。	本業務と同様ならびに同規模の契約実績がある場合、その契約書及び仕様書の写しの添付をもって、本業務を受託できる会社である旨を証明する書類とすることを想定しています。なお、契約実績がない場合については、提出を必須とするものではありません。

【問合せ先】
宮崎県教育庁高校教育課 学校教育計画担当
担当 上水（かみみず）
TEL 0985-44-2601
E-mail kokokyoiku@pref.miyazaki.lg.jp